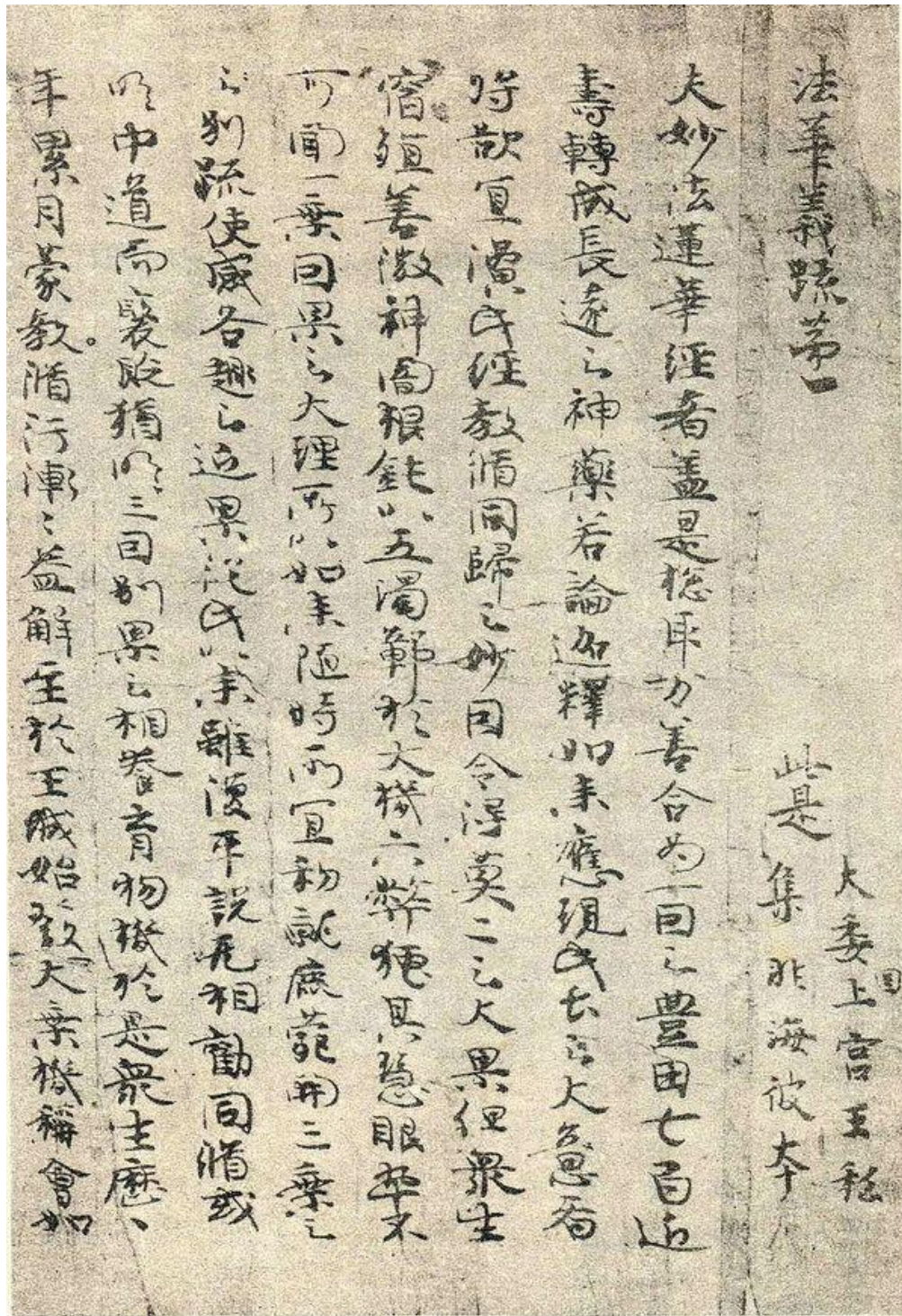


写真4 聖徳太子「法華義疏」巻頭部分（伝、真筆）



御物（宮内庁蔵）。Wikipedia「三經義疏」より

右端の題名「法華義疏第一」とその下の「此れは是、大委<sup>やまと</sup>の上宮王の私集、海彼<sup>かいひ</sup>の本に非ず」は、短冊状の紙に書かれ、貼り付けられている。この部分は、8世紀前半にこの巻物を僧行信が法隆寺東院に奉納した時に書かれたものと考えられている。（東野治之『聖徳太子 ほんとうの姿を求めて』（岩波ジュニア新書、2017）の解説）